

OfficeMixを用いた講義ビデオの作成方法

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柴田, 頼紀 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00010255

OfficeMix を用いた講義ビデオの作成方法

柴田 頼紀

技術部 情報支援部門

1. はじめに

大学教育の変化が進む中で、「反転講義」という教育の方法が注目されている。しかし、反転講義に必要な講義ビデオの作成が難しく、普及を妨げている。そこで、OfficeMix というパワーポイントの拡張機能を使用して、簡単に講義ビデオを作成する研修を企画した。また、同時に情報基盤センターが運営する大学教育テレビジョンの利用方法も説明し、すぐにでも反転講義への移行ができるような態勢を整えられるようにした。

2. 反転講義

反転講義とは「学校で講義を受け、家で復習(宿題)をする」という従来型の講義とは逆で「宿題として家で講義を受け、学校で復習をする」という講義形態である。講義をビデオ形式にし、インターネット上で公開することで、生徒はいつでも自分のペースに合わせて講義を受けることが可能となる。学校では質問の受付や課題を主に行うことで、学生の理解度に合わせたフォローアップを行うことができる。さらに、講義ビデオに適切な字幕などを設定することにより、多言語での講義も実施できるようになる。反転講義の形態を採用することで、教育における時間的・空間的な制約を緩められると期待されている。

しかし、前述にあったように講義動画の作成には技術的に難しい部分があり、普及を妨げている一因となっている。

3. OfficeMix

OfficeMix とはパワーポイント用の拡張機能（プラグイン）の一つである。

通常、講義ビデオをインターネットに公開する為にはプレゼンテーションの作成、動画の撮影と編集、インターネットへのアップロード等多数の行程が必要となる。また、そのために複数のソフトウェアを使用する必要があった。

しかし、OfficeMix の拡張機能を利用するとパワーポイントのソフトウェア上で、上記すべての作業ができるようになる。また、マイクロソフトアカウントと連携することで、OfficeMix の Web サイトへ、作成したプレゼンテーション動画をアップロードすることが可能となる。この拡張機能は無料で公開されており、パワーポイントを利用しているユーザなら誰でも入手ができる。

4. 研修の内容

今回の研修ではスライドの作成から Web サイトへアップロードまでを一貫して体験してもらうことに主眼を置いた。そのため、作成する動画のテーマを「自己紹介」、映像の時間を 3 分程度と設定した。

まず、受講者には自己紹介のパワーポイントスライドを作成してもらった。このとき、特別な操作などは行わず、通常のプレゼンテーションを行うときと同じような作り方をしてもらった。



図 1 OfficeMix での動画撮影画面

その後、OfficeMix の拡張機能を利用し、プレゼンテーションを行う様子を撮影した。OfficeMix の拡張機能を使用している PC の画面を図 1 に示す。この画面には作成したスライド、撮影している映像、画面書き込み用のペンツールなどが表示されており、これらの機能を利用して講義映像を作成した。そして、作成した講義映像を OfficeMix の Web サイトへアップロードし、インターネット上で公開されていることを確認した。

最後に、情報基盤センターが運営している Web サイト、大学教育テレビジョンへのチャンネル登録も行った。この Web サイトを利用することで、講義毎に動画を整理して公開することが可能になる。また、その講義に関連する資料を公開することもでき、学生が使いやすい講義ページを作成できる。

5. まとめ

今回の研修は 2 回実施し、合計で 13 名が受講をした。研修の時間は 2 時間程度と短い時間であったが、どの受講者もスライドの作成から動画のアップロードまでをこなすことができていた。「思っていたより簡単にできた」といった感想が多く見られ、非常に意味のある研修が出来たと思う。

実際に、技術職員が反転講義の映像を作成するという機会はあまり多くないかもしれない。しかし、実験や実習で扱う器具や装置の使い方や手順などを予習用の動画として用意しておけば、限られた実習の時間を有効に活用できる。今回の研修で得られた技術を有効的に活用されていく事を期待する。

今回の研修で作成した動画を Web で公開しています。以下の URL でご覧頂けます。

動画 URL : <https://mix.office.com/watch/1xrkk10phzkgm>

参考文献

静岡大学 情報基盤センター 反転講義支援

http://www.cii.shizuoka.ac.jp/in/?page_id=11427